

未来へつなぐ 平和への思い

コザ市(後の沖縄市)から豊中市の沖縄戦戦没者遺族に霊石と仏桑華(ハイビスカス)が届けられたことに始まった、両市の交流。その根底にあるのは、互いを思いやる気持ち、そして“平和を願う心”です。50年の交流の中で、さまざまな催しや活動が行われてきましたが、一貫しているのは平和への思いを未来へつなぐこと。それは、子どもたちや若者にもしっかり浸透し、次の時代へ向かって脈々と受け継がれています。



中学生平和大使相互交流学習

兄弟都市提携40周年を迎えた2014年(平成26年)、両市の中学生が平和大使となり、平和について共に学び、考えていく事業が行われました。交流学习の中で柱となった活動は、豊中の平和大使たちの「沖縄訪問」です。沖縄の平和大使たちと交流しながらさまざまなプログラムの中で沖縄戦や戦後史を知り、平和について意見を交換しました。



両市の中学生平和大使同士で意見を交換。



豊中市9人、沖縄市16人が中学生平和大使として参加。共に沖縄戦の戦跡を訪れました。

沖縄訪問 2014年
7月28日～30日

- 1日目 戦争体験者の講話聴講、中学生平和大使交流会
- 2日目 嘉手納飛行場内史跡など沖縄市戦跡巡り
- 3日目 那覇市内史跡など見学



ヒストリートなど、沖縄市内を見学



戦争体験者の講話に聞き入る中学生平和大使たち

2014

戦争について学び、

絆を深めたあの夏の日

交流学习を振り返って

OKINAWA

きんじょう みくも
金城 未空 さん



中学2年生のときに平和大使になりました。意見交換会で仲良くなった豊中の大使とは、その後もメールをやりとりするなど、良い交流が続きました。また、共に学び合う中で「戦争がないことが平和」という概念を、さらに踏み込んで理解できたように思います。10年たったいまあの時の経験からか、戦争や悲しい事件の報道を目にするたびに、その背景を考えたり調べたりしています。

日本では現在戦争は起きていないものの、自然災害や貧困問題など毎日を安心して穏やかに暮らすという点では平和が脅かされていることが多々あります。自分に何ができるのか、考え続けていくことが大切だと思います。

交流学习を振り返って

TOYONAKA

みなと かずき
湊 和輝 さん



中学生平和大使のことは先生から聞いて、「貴重な経験ができそうだな」と思い応募しました。沖縄訪問では嘉手納飛行場の中に入って戦闘機を見たり、当時の防空壕(ごう)を見学したりしたことが印象に残っています。当時は米軍基地があることから起こる数々の問題が世間では取り沙汰されていませんでした。しかし、沖縄市の平和大使の一人が「自分の親は基地で働いているので、必ずしも基地がなくなったらいいとは思えない」と言っているのを聞いて、考えさせられました。こうした体験からその後、米軍基地についてどうするのが一番いいのか、いろいろな面から考えるようになりました。

昨今、世界情勢を見ても平和は崩れやすいように感じます。現代の平和が過去の多くの犠牲の上に成り立っていることを忘れず、これからも平和を守り続けていかなければいけないと思っています。



最初は緊張していたものの、交流会では夕食を共にし、打ち解けた様子も。



沖縄訪問では首里城などを見学。後日、豊中人権まちづくりセンターで平和大使学習報告会も実施し、3日間で学んだ沖縄戦や基地問題などについて発表しました。



豊中市中で行われた中間報告会の様子。オンラインでやりとりします。



中間報告会。それぞれのテーマを探究し、秋の沖縄スタディーツアーに臨みます。



いま再び、

平和について考え交流しよう

平和学習プロジェクト～平和の伝え方について考える～

両市の中学生平和大使が交流し、学び合ってから10年。兄弟都市提携50年を機に、再び平和の大切さを考えていこうと、高校生を対象にした新たなプロジェクトが立ち上がりました。10年前と同じく、豊中の高校生が沖縄を訪問し、沖縄の高校生と共に戦争や戦後史について学び、平和への思いを広く伝えていきます。

Step 1
6月5日
キックオフミーティング・事前説明会

参加する高校生たちの初顔合わせがオンライン上で行われ、平和学習プロジェクトの概要やこれからのスケジュールが説明されました。プロジェクトでは、沖縄市・豊中市に関するテーマを個人またはグループで1つ選定して調査を進めていきます。例えば「沖縄市の沖縄戦」を大きなテーマに、「コザの沖縄戦」や「沖縄市に残る戦跡」などについて掘り下げて調べます。

Step 2
7月～10月
調査・中間報告

夏から秋へとテーマの探究をしました。調査は、新聞や文献、ネット資料などを使ってそれぞれで行います。途中迷ったり困ったりしたときには、大阪大学・大学院の学生チューター※に相談。また、中間報告会も行われ、チューターからコメントやアドバイスをもらいました。
※イベントや平和学習において、高校生のサポートをします。

イベントへの参加

高校生たちは豊中市または沖縄市主催の平和に関するイベントにも参加。オンラインなどでも参加でき、平和について、さまざまな角度から考えるよい機会となりました。

- 6月9日 市民平和講座「石川・宮森小米軍ジェット機墜落事故」(沖縄市主催)
- 6月14日 オンラインシンポジウム(豊中市主催)
- 6月23日 沖縄全戦没者追悼式参列、資料館見学(沖縄市主催)
- 7月13日 オンライン学習会「平和ガイドから学ぶー豊中市・沖縄市の戦争と戦後」(豊中市主催)
- 9月7日 沖縄市民平和の日記念行事(沖縄市主催)

VOICE TOYONAKA



もり はると
森 悠人 さん
箕面自由学園高校1年

中学の修学旅行で知った沖縄での戦争をさらに学んでみたいと思い、参加しました。事前に大阪の空襲についても調べてより深く戦争や平和を考えていきたいです。

おおaura いと
大浦 綸 さん
箕面自由学園高校1年

平和は一人一人が理解し合うことで、維持していくもの。今回のツアーで、実際の沖縄を見て感じたことを、自分の言葉で人に伝えていきたいと思っています。



沖縄スタディーツアーで見学をする「ひめゆり平和祈念資料館」

Step 3
11月2日～4日
沖縄スタディーツアー

豊中の高校生たちが沖縄へ。平和に関する場所の見学や両市の高校生たちの交流など、多彩なプログラムが用意されています。また、これまでの調査の成果を発表します。

沖縄スタディーツアー行程

- 1日目 ひめゆり平和祈念資料館見学
- 2日目 沖縄市・豊中市平和交流 忠魂碑や奉安殿、ヒストリートなどフィールドワーク
- 2日目 平和学習プロジェクト報告会懇親会
- 3日目 帰阪



いしだ ももな
石田 桃菜 さん
豊中高校2年

参加するみんなのプロジェクトへの強い思いを感じています。将来の夢は、小学校教諭。子どもたちに今回学んだことを伝えていきたいなと思っています。



VOICE OKINAWA



とうま しえる
当真 颯得 さん
コザ高校2年

沖縄戦のことは小・中学校時代に学習していますが、それだけで終わらせてはいけないと思い、平和学習プロジェクトに参加することを決めました。まずは沖縄以外のことも知りたいし、豊中の人たちと楽しく、有意義な交流もしてみたいです。そして、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、学んだことを身近な友達からでも伝えていけたらと考えています。それが次代を担う、自分たちの役割だと思います。このプロジェクトで、自分の中で求めているものが得られるのではと期待しています。

Message — 平和学習プロジェクトチューターから —

教科書にはない学びを吸収してほしい

いしかわ ゆうと
石川 勇人 さん
大阪大学大学院 人文科学研究科 日本学専攻 博士後期課程2年

なぜ人は戦争体制へと向かい、多くの住民が命を落としたのか。沖縄でのフィールドワークは、そうした疑問を考えるための気づきがたくさんあるはず。有意義な学習を進められるよう、皆さんを全力でサポートしたいと思う一方、私自身も両地域の出来事や歴史についての学びを深めていける機会だと思っています。